



## 次世代企業の標準

令和6年1月29日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

ビッグデータの処理管理は、全ての製品と顧客、消費者、流通データの管理を行い、アフターサービスや、消費者へのフォローを実現できる。また全ての部品や顧客、流通における効率化は、個別管理における品質向上や、効率化を実現する。

これら全てのデジタル化は、企業経営や作業環境を完全にデジタル化し、その高い効率性における企業システム経営への意向において、その優れた企業美点を集約し、次世代という基準の構築を行う。

これらは自動化された生産体制への移行は、高い生産性と品質基準における新たな生産基準における企業構築を実現するものである。

これら企業の完成は、グローバル市場における企業拠点において大きなアドバンテージを与えるものであり、これらは世界基準における企業経営の構築において、時代性への参加を実現できるのである。

これらは優れた社員待遇や給与の世界基準における企業構築をその優れた効率性やコスト基準において実現できるものである。

これらは、他方において自社製品における新しい要求を有するのである。これらは製品要求と基準を遥かに高く要求し、コスト基準をクリアし、市場参加を求められる。

これらは次世代という技術とシステムが、それら製品機能のお拡大を可能とするものであり、独創性は、それら深遠な理解における製品化を実現できるものである。

これら世界や時代との対等性は、企業が新たな創造性を実現し、未来という新たな現実への参加を可能とするのである。

これらは新たな企業の社会責任を与え、これらは企業が自己の独創性や理念を抱き、新たな自己と現実を構築できるのである。これらは企業が、その自己の独立性において、自己の目的を新たに実現できるのである。

